

第6学年 国語科学習指導案

期 日 平成30年10月10日(水) 5校時
児 童 男子16名 女子8名 計24名
授業者 鈴木 克哉

1 単元名 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について自分の考えを伝えよう
学習材 「海の命(立松和平)」(光村図書 六年)

2 単元の指導構想

(1) 単元について

本単元は学習指導要領第5学年及び第6学年における内容「C 読むこと(1)イ・オ・カ」を受けて設定する。

C 読むこと
(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるように指導する。
イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。

本単元では、学習材「海の命」を通して、主人公の成長を周りの人物との関係の中で捉え、捉えたことを交流することで、自分の考えを広げたり深めたりする力を身に付けさせたい。

【身に付けさせたい力】
◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉え、作者が描こうとしている作品の世界、テーマについて自分なりの考えをまとめる力。
○教材文を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする力。

学習材「海の命」は、主人公・太一の少年期から始まり、青年、壮年になるまでの生涯が描かれている。また、起承転結の場面展開がはっきりした構成であり、この構成に沿って太一の成長が描かれている。

主人公・太一は、様々な人物とのかかわりの中で大きく成長していく。太一と周りの登場人物との関わり合いをしっかりと捉えながら太一の心情やその変化を考えていくことで、物語の世界を深く理解することが可能になると考える。そして、読み取ったことを基にこの物語のテーマである「海の命」についての自分の考えをまとめ、それらを交流し合う活動を通して、自分の考えを深めさせたり自分の生き方と結びつけて考えさせたりしていきたい。

(2) 児童について

児童は、「カレーライス」の学習で、主人公とその父の思いの違い、また、二人の思いが言動にどのように描き出されているかという叙述の面白さを考える学習をしている。

さらに、「やまなし」の学習では、叙述に即して登場人物の心情を想像することや比喩や倒置などの表現の工夫を捉え、読み取ったことを朗読に生かす学習を行っ

ている。また、作者が作品に込めた思いを自分なりに想像し、それをグループで交流したり全体で話し合ったりすることで、多様な考え方に触れ、自分の考えを客観的に捉え直すこともできた。

「海の命」の学習では、登場人物の相互の関わりに着目させながら登場人物の心情や変容を読み取らせ、一人一人の児童に自分なりの考えをしっかりとめたいと考える。そして、意見の交流や話し合い活動を考えをまとめる活動に生かせるようにしていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について自分の考えをまとめる力を育てていきたいと考える。そのために、単元のゴールを「人物の生き方について、自分の考えを伝えよう」と位置づける。

第一次では、学習材「海の命」の感想をもとに、単元のゴールである「人物の生き方について、自分の考えを伝えよう」に向けての学習計画を立てる。

第二次では、主人公・太一の成長を捉えるために、登場人物の相互関係に焦点を絞って、叙述に即して読んでいく。その中で、グループでの話し合いを位置づけ、他の考え方と比べながら自分の考えを深めていく学習を展開したい。そして、最終的に「海の命」とは何かという作品のテーマについて、考えさせていきたい。

第三次では、第二次での学習をもとに「登場人物についての自分の考え」「この作品を学習して、自分の生き方について考えたこと」という視点で自分の考えをまとめ、交流する活動を行う。

さらに、「登場人物の関係」という読みの視点をもって、他の「いのちシリーズ」や参考図書などを読み、読書の幅や様々な考えや生き方に触れる機会を広げていきたい。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

- 作品に興味をもち、主人公の生き方や「海の命」について自分の考えをもととしていく。
(国語への関心・意欲・態度)
- ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、人物の生き方や作品の世界について自分の考えをまとめることができる。
(読むこと(1)イ・オ)
- 人物の生き方や作品の世界についての考えを交流し、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。
(読むこと(1)カ)
- ◎物語の構成を理解している。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(キ))

(2) 単元の評価規準

国語への関心・ 意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
・「海の命」に興味をもち、主人公の生き方や「海の命」について自分の考えをもとと主体的に取り組んでいる。	・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、人物の生き方や作品の世界について自分の考えをまとめることができる。 【(1)ーイ・オ】 ・人物の生き方や作品の世界についての考えを発表し、自分の考えと比べながら友達の考えを聞くことができる。 【(1)ーカ】	・物語の構成を理解している。 【伝国(1)イ(キ)】

4 指導計画

(全7時間)

次	時間	学習活動	主な評価規準と評価方法()
第一次	1	○教材「海の命」を読み、太一と登場人物の関わりについて考え、感想を書く。 ○学習のねらいを知る。 ○物語の構造をおさえる。	〔関〕「海の命」を読み、感想を書いている。(ノート) 〔関〕学習のねらいを理解し、主体的に取り組もうとしている。 (振り返り) 〔伝国〕作品の構造をおさえる。 (発言・ノート)
	2	○学習課題を設定し、学習計画を立てる。	〔関〕「海の命」の感想をもとに、学習計画を立てようとしている。 (発言・振り返り)
第二次	3	○太一と与吉じいさの関係を読み取る。	〔読イ〕太一と与吉じいさの関係を読み取りながら、太一の成長を考えている。 (発言・学習プリント)
	4	○太一とクエの関係を読み取る。	〔読イ〕太一がクエと対峙する場面を読み取りながら、太一の成長を考えている。 (発言・学習プリント)
	5	○「海の命」とは何かを考える。	〔読オ〕「海の命」とは何か、自分の考えをまとめている。 (発言・学習プリント)

第 三 次	6	○学習のまとめの感想を書く。	〔読オ〕「登場人物についての自分の考え」「この作品を学習して、自分の生き方について考えたこと」という観点で感想をまとめている。 (ノート)
	7	○感想を交流し合う。	〔読カ〕友達の感想を聞いて思ったことを発表している。 (発表・ノート)

5 本時の指導計画

(1) 目標

太一とクエの関係を考えながら、太一がなぜクエを殺さなかったのかを読み取る。

(2) 評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力
本時の課題を把握し、意欲的に課題を解決しようとしている。	クエと対峙する太一の叙述をもとに、太一とクエの関係を捉え、太一がなぜクエを殺さなかったのかを考える。

《支援を要する児童への手立て》

話し合いの中で該当児童の理解度を確かめながら、適宜具体的な補足説明を加えていく。

太一の心情を直接記述している部分を手掛かりにさせ、太一の考えの変化に気づかせる。

(3) 「主体的・対話的で深い学びの視点を取り入れた授業作りについて」

本時の学習では、太一の心情の変化を理解するために、クエとの関係をしっかりと捉えさせたい。そのために、太一に対してクエがどのような関わりをしているかを一人一人に考えさせていく。児童が主体的に学習に取り組むことができるよう、学習の見通しをもたせる活動を丁寧に扱いたい。

その後、考えを出し合いながら深めていくという活動を行っていく。対話的で深い学びとなるよう、個々の意見の中から、全体で考えさせたい要素をすくい上げ、問い返ししながら課題の解決に迫っていきたい。話し合いでは、グループでの話し合いなどを取り入れるなど、柔軟に進めていきたい。

(4) 展開

学習過程	学習活動	○働きかけ ◇評価（方法）	研究
前時想起 1分	1. 前時の学習を振り返る。	○前時は、太一と与吉じいさの関係を読み取ったことを想起させる。	
課題把握 5分	2. 本時の学習課題を把握する。	◇本時の学習課題を把握し、解決の意欲をもつことができたか。(観察)	
	太一は、なぜクエを殺さなかったのだろう。		
		○この場面で太一が大きく変容したことを確認する。 ○クエの描写、太一の行動に着目していくことを確認する。 ◇学習の見通しをもつことができたか。 (観察・発言)	
	3. 学習場面を音読する。 P.208 L.9~P.211 L.3	○各自で音読させる。	
課題解決 7分	4. 課題を解決する。 (1) 太一とクエの関わりを叙述を基にまとめる。	○叙述と心情をセットで書き込ませる。 ◇太一とクエの関係を図にまとめることができたか。(学習プリント)	個の考えをもつ時間 (一人読み) 思考の可視化
	(2) 太一の心情の変化につながる叙述を見つけ、心情の変化をとらえる。	○教科書の叙述の部分は紙板書で準備しておく。 ○父や与吉じいさ、母とのかかわりについて触れている児童がいれば取り上げる。	意見を交流したり深めたりする場の設定 ペア学習・グループ学習を行う時間の位置づけ
18分			

<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>5. 学習のまとめをする。</p> <p>(3) 太一がクエを殺さなかった理由について自分の考えをプリントまとめる。</p> <p>(4) 自分の書いたまとめを発表する。</p>	<p>○登場人物とのかかわりで太一がどのように変容したのかという視点で自分の考えを書かせる。</p>	
<p>太一は、クエを目の前にしてなやんだが、クエの姿を見ているうちに、クエを殺してはいけないという考えに変わったから。</p>			
<p>振り返り</p>	<p>6. 学習を振り返る。</p> <p>(5) 学習の感想を書く。</p> <p>(6) 感想を発表する。</p>	<p>○感想という形で振り返りを書かせる。</p> <p>○2、3名に発表させる。</p>	<p>* 感想の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でできるようになったこと。 ・がんばったこと ・意見を交流してよかったこと
<p>4分</p>	<p>7. 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>○次時は「海の命」について考えることを知らせる。</p>	

(5) 板書計画

